

働き方改革

生産性向上

まるごとわかる建設業の最前線

建設業界の関心の高い「働き方改革」と「生産性向上」について、建設現場を中心に関係法令から最先端の取り組みまで、一度の受講でおおよその知識を得ることのできるALL-IN-ONEタイプの講習です。

CPD
登録講習

※詳細はホームページをご覧ください。

講習日時・講義内容

Aコース 令和元年7月11日(木) 9:10～16:40

建設現場の「働き方改革」はどう進むのか

- 1 建設業の担い手確保と建設業法等の改正
- 2 「働き方改革」現場で押えておきたい建設関連法令のポイント
- 3 「働き方改革」現場で押えておきたい労務管理のポイント
- 4 取り組み事例から学ぶ建設現場の週休二日制

Bコース 令和元年7月12日(金) 9:10～16:40

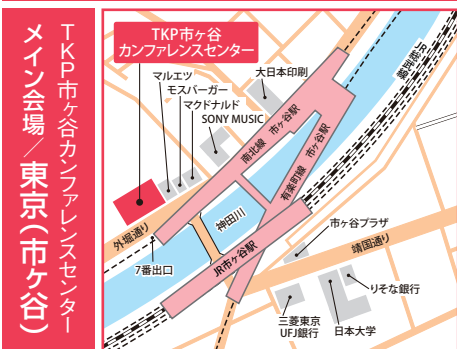
トップランナーが語る建設現場の「生産性向上」

- 1 改修工事事例から学ぶ建築設備工場の生産性向上
- 2 土木工事の「生産性向上」-進む建設生産革命 その勘所-
- 3 建築工事の「生産性向上」-あらゆる生産プロセスの変革を-
- 4 建設現場の生産性2割向上を目指して

講習のポイント

- ・ 講義終了後、期間内であれば講義内容の質問をメールでお受けします。
- ・ 業務上必要となる基礎的な知識や技術のポイントを、1コース1日単位で、短期間で気軽に受講できます。
- ・ 遠方の方や長期講習に参加するのが難しい方でも、お近くの会場で受講でき、経費や時間を節約することができます。

メイン会場 / 東京

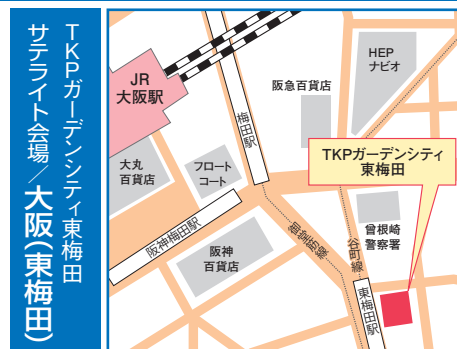


東京都新宿区市谷八幡町8番地TKP市ヶ谷ビル
JR総武線 市ヶ谷駅 徒歩2分
東京メトロ南北線・有楽町線 市ヶ谷駅 7番出口 徒歩1分

サテライト会場 / 名古屋・大阪



愛知県名古屋市中村区椿町1-16 井門名古屋ビル5F
JR「名古屋駅」徒歩1分
名鉄・近鉄・地下鉄「名古屋駅」徒歩5分



大阪府大阪市北区曾根崎2丁目11-16 梅田セントラルビル8F
地下鉄「東梅田駅」徒歩1分
JR「大阪駅」徒歩6分、各線「梅田駅」徒歩4～8分

サテライト講習とは

東京で行われる経験豊富な講師陣による講習を名古屋・大阪のサテライト会場でインターネット回線を利用し、リアルタイムに受講できます。なお、各会場から講師との質疑応答もできます。

主催

一般財団法人 **全国建設研修センター**
Japan Construction Training Center

後援

- (一社)全国建設業協会
- (一社)日本建設業連合会
- (一社)全国土木施工管理技士会連合会
- (一社)建設コンサルタンツ協会
- (一社)全国測量設計業協会連合会

Aコース

建設現場の「働き方改革」はどう進むのか

令和元年 7月11日(木)

講習時間 9:10~16:40

待ったなしの建設業の担い手確保。「働き方改革」の名で様々な法律の整備や現場での取り組みが進められています。主に現場管理に携わる方々を対象に、法律の動きと業務上のポイントについて分かりやすく説明します。

9:10~9:20
講習についての説明

1時限目

9:20~10:50

国土交通省

土地・建設産業局建設業課
建設業政策企画官

【講師】平林 剛

建設業の担い手確保と建設業法等の改正

建設業の担い手確保のため、今年3月に建設業法等の改正が閣議決定され、今国会での成立を目指しています。25年ぶりともいわれるその改正とそれにかかわる施策について、背景と目的、そして内容を説明します。

10:50~11:00
休憩

2時限目

11:00~12:30

一般社団法人

建設産業活性化センター

コンサルタント

【講師】清水 茜作

「働き方改革」現場で押えておきたい建設関連法令のポイント

建設業法等の近時改正を控えて、技術者配置から監督処分まで、いまから現場で押さえておきたいポイントについて説明します。

12:30~13:30
昼食休憩

3時限目

13:30~15:30

日本橋中央労務管理事務所

所長代行・取締役

特定社会保険労務士

【講師】桑原 敬

「働き方改革」現場で押えておきたい労務管理のポイント

「働き方改革関連法」の施行、労働基準法・労働安全衛生法等の改正等をふまえ、労働時間管理、36協定、社会保険その他、いまから現場で押さえておきたいポイントについて説明します。

15:30~15:40
休憩

4時限目

15:40~16:40

一般社団法人

日本建設業連合会

常務執行役

【講師】山本 亘

取り組み事例から学ぶ建設現場の週休二日制

週休二日、現場閉所に向けたゼネコン各社の様々な取り組みについて、日建連「週休二日推進本部」担当である講師が紹介します。

Bコース

トップランナーが語る建設現場の「生産性向上」

令和元年 7月12日(金)

講習時間 9:10~16:40

建設現場の「生産性向上」に向けて官民をあげた取り組みが進められています。その中でも最先端の取り組みにかかわっている講師が、その実際について説明します。

9:10~9:20
講習についての説明

1時限目

9:20~10:20

高砂熟学工業株式会社

東京本店

副本店長兼技術部

部長 【講師】鮫島 武士

改修工事事例から学ぶ建築設備工事の「生産性向上」

国土交通省が実施するi-construction大賞の平成30年度優秀賞受賞工事を中心に、エネルギー関連や機器老朽化等で需要が拡大する建築設備工事について、生産性向上に向けた取り組みを紹介し

10:20~10:30
休憩

2時限目

10:30~12:30

株式会社大林組

グループ経営戦略室

経営基盤イノベーション推進部

副部長 【講師】杉浦 伸哉

土木工事の「生産性向上」ー進む建設生産革命 その勘所ー

業務のデジタル化や建設プロセスの自動化が進む土木分野。CIM、ICT施工技術導入の第一人者として活躍してきた講師が、多くの経験をもとにその勘所についてわかりやすく説明します。

12:30~13:30
昼食休憩

3時限目

13:30~15:00

鹿島建設株式会社

建築管理本部建築工務部

部長

【講師】加藤 昌二

建築工事の「生産性向上」ーあらゆる生産プロセスの変革をー

「作業の半分はロボットと」「管理の半分は遠隔で」「全てのプロセスをデジタルに」の3つをコアコンセプトに、建築工事に関わるあらゆる生産プロセスの変革を推進し生産性向上を目指す「鹿島スマート生産ビジョン」。担当者である講師がその概要を説明します。

15:00~15:10
休憩

4時限目

15:10~16:40

国土交通省

大臣官房技術調査課

建設生産性向上推進官

【講師】廣瀬 健二郎

建設現場の生産性2割向上を目指して

i-Constructionへの異業種技術の積極的取り込みの推進から技術的なガイドラインの整備まで、「2025年度までに建設現場の生産性2割向上」を目指す国土交通省の取り組みを説明します。

※すべての講習を受講した方には、『講習修了証』をお渡しします。 ※講習科目及び講師は変更する場合がありますので、ご了承ください。

申込
期間

令和元年 5月13日(月)~7月5日(金)

※申込期間を過ぎてお申込みを希望される方は、電話でお問い合わせください。

講習
申込

右記の当センターホームページからサテライト講習を選択の上、ページ内の「申込みの流れ」をご確認いただきお申込みください。

<http://www.jctc.jp/>

全国建設研修センター

募集
人数

受講
費用

※受講費用にはテキスト代・消費税が含まれています。
※各会場定員になり次第締切りとさせていただきます。
※お申込み後の辞退は極力、ご遠慮ください。

各
コ
ー
ス

メイン会場
東京

100名 15,000円/人

サテライト会場
名古屋・大阪

各100名 12,000円/人

問合せ先



一般財団法人

全国建設研修センター

事業推進室 サテライト講習係 〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2

<http://www.jctc.jp/>

042(300)1743

ご質問等は電話で、お気軽にお問合わせください。

